

---

---

# 四日市市子ども・子育てに関する アンケート調査報告書(案)

---

---

概要版

平成 26 年 3 月

# 目次

## 調査の概要

.....1

## 調査結果のポイント

1 家族の状況と子どもの育ちをめぐる環境 .....	2
2 両親の就労状況・就労意向 .....	4
3 教育・保育事業の利用状況と利用希望 .....	7
4 地域子ども・子育て支援事業の利用について .....	12
5 小学生の放課後の過ごし方 .....	17
6 小学生の生活習慣 .....	21
7 職場の両立支援制度 .....	23
8 子育て全般 .....	25

# 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、「四日市市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた基礎資料とすることを目的として、就学前児童（0～5歳児）及び小学校児童（1～6年生）の保護者の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施しました。

## 2. 調査の方法

調査対象地域	四日市市全域
調査対象者	対象年齢児童のいる保護者
調査期間	平成25年11月～12月
調査方法	郵送による配布・回収

## 3. サンプル数及び有効回収数

調査種別	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	3,000	1,920	64.0%
小学校児童調査	1,300	799	61.5%

## 4. 注意事項

集計は、すべてパーセントで示しましたが、小数点第2位で四捨五入しているため、パーセントの合計が100.0%にならない場合もあります。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%をこえる場合があります。

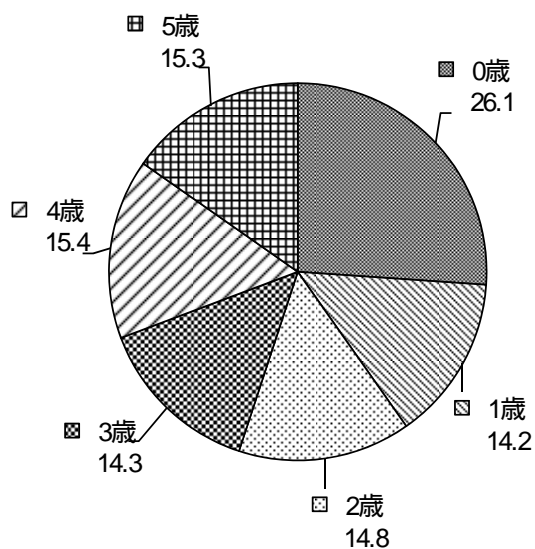
グラフ及び表のN数（number of case）は、「無回答」や「不明」を除く有効標本数（集計対象者総数）を表しております。

# 調査結果のポイント

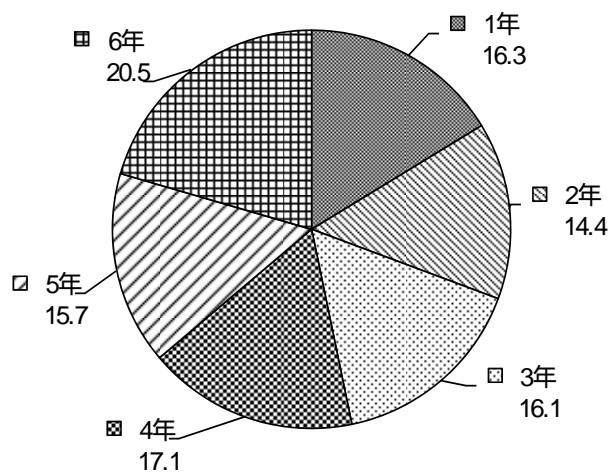
## 1. 家族の状況と子どもの育ちをめぐる環境

### (1) 対象児童の年齢

【就学前調査 N=1,893】

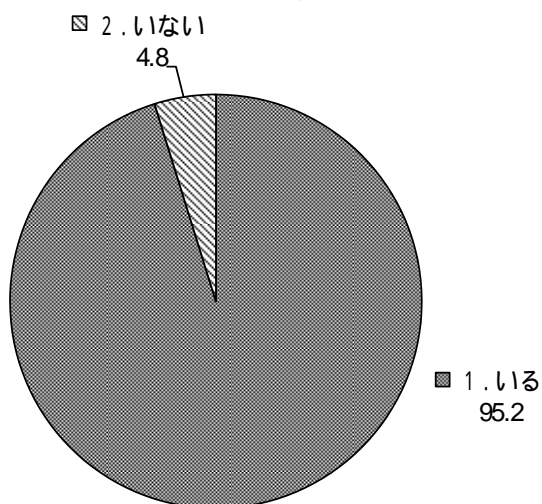


【小学校調査 N=797】

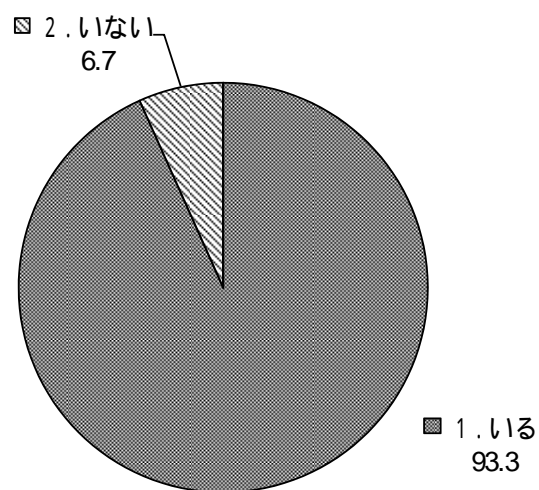


### (2) 回答者の配偶者の状況

【就学前調査 N=1,893】

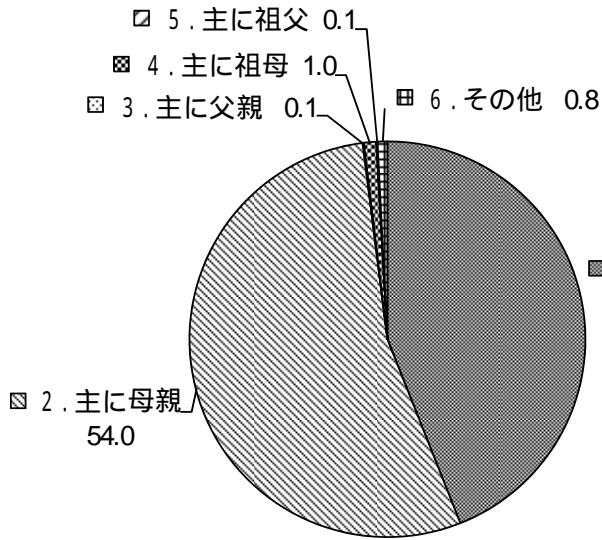


【小学校調査 N=791】

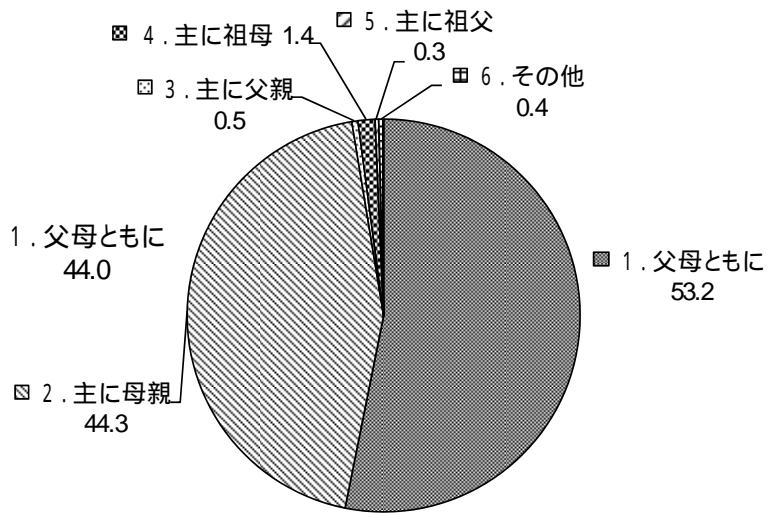


### (3) 子育ての主体者

【就学前調査 N=1,902】



【小学校調査 N=795】

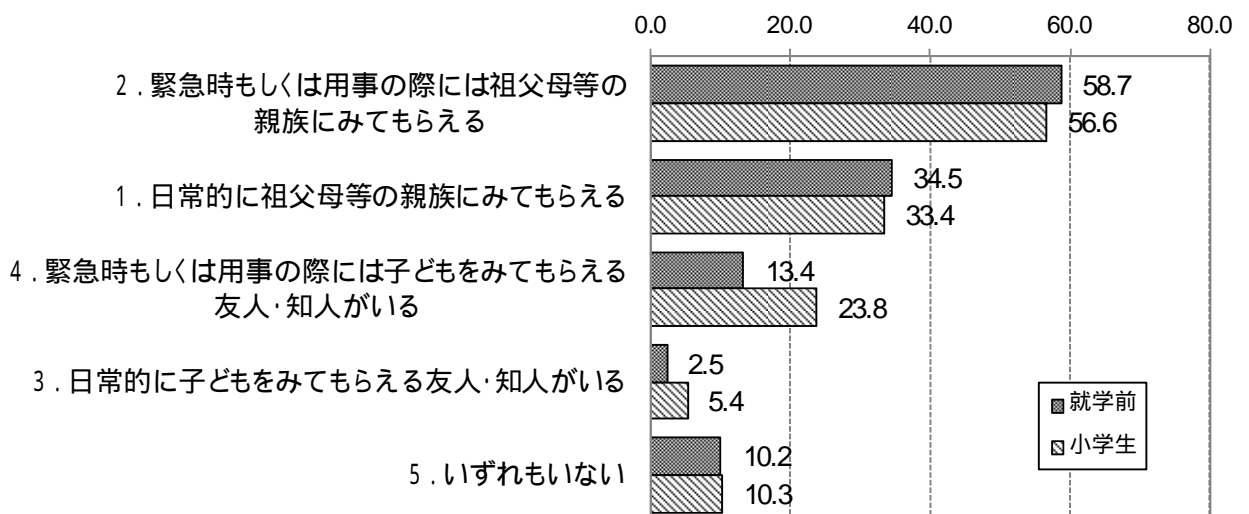


### (4) 子どもの育ちをめぐる環境

日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60%弱で最も多くなっています。次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が30%強となっており、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」も『小学校』では20%以上に上ります。一方、約10%の方が「いずれもない」と回答しています。

《日頃、子どもを見てもらえる親族・知人など / 複数回答》

【就学前調査 N=1,888】【小学校調査 N=785】

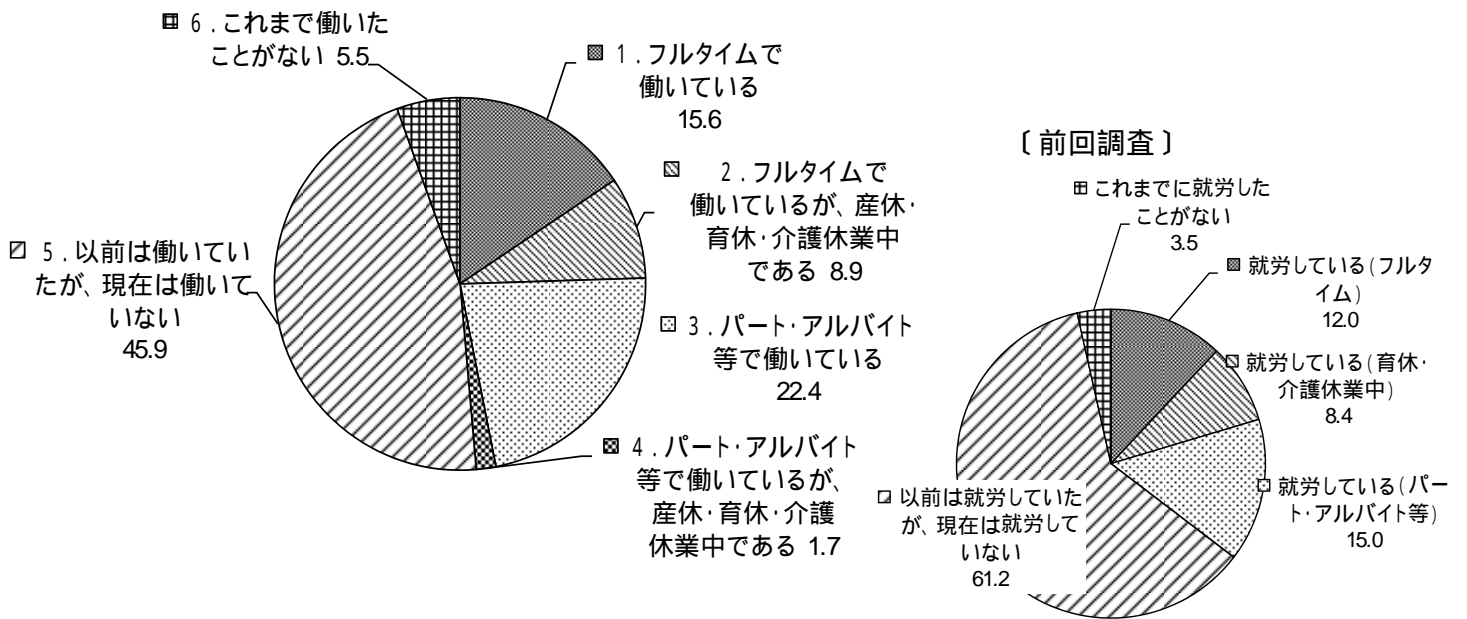


## 2. 母親の就労状況について

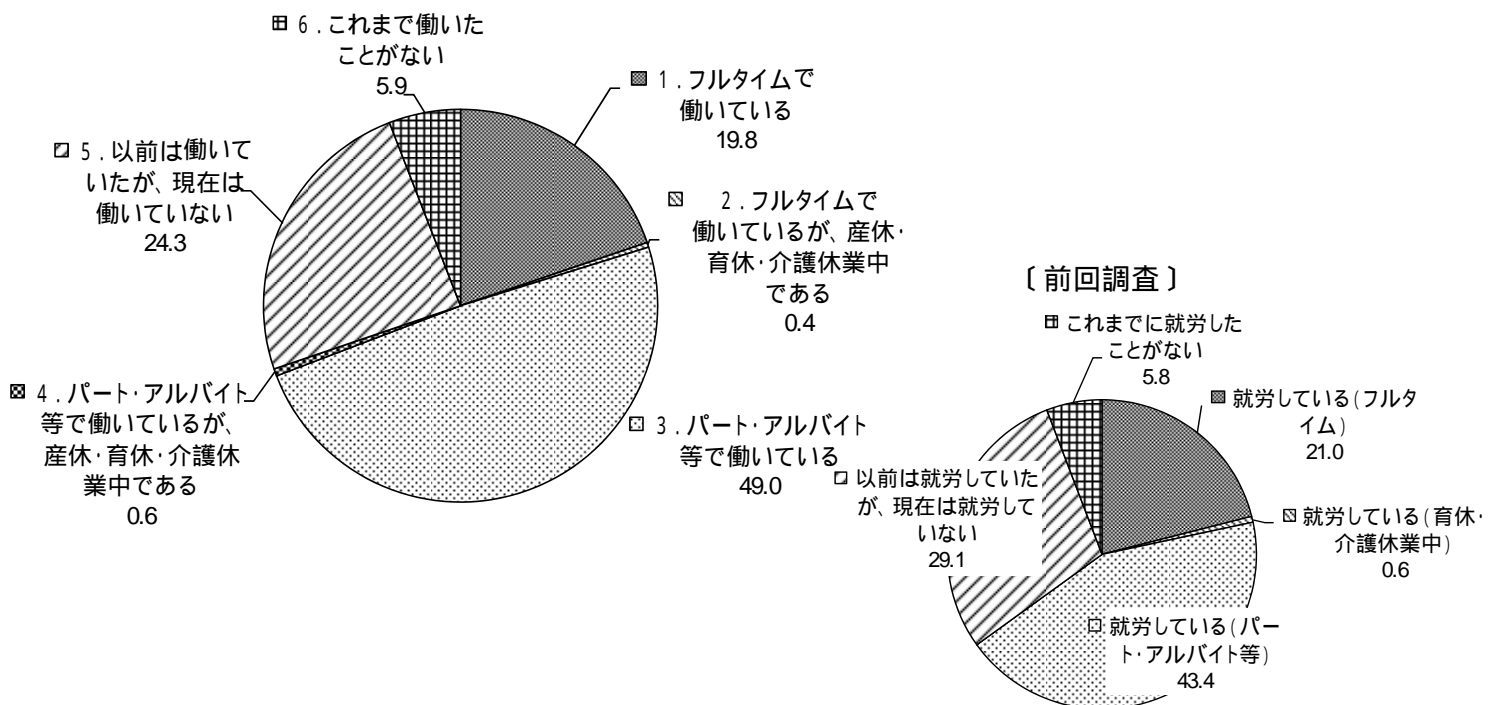
### (1) 現在の就労状況について

母親の現在の就労状況は、『就学前』では半数を超える方が「働いていない」という状況ですが、『小学校』では「働いていない」が少なくなり、「パート・アルバイト」が約50%となります。子どもが大きくなるに従い、パート等に就く方が増えることがうかがえます。前回調査と比較すると、『小学校』は大きくは変わりませんが、『就学前』で「パート・アルバイト」の増加が見られ、子どもが小さい時から働く方が増えている状況がうかがえます。

【就学前調査 N=1,886】



【小学校調査 N=782】

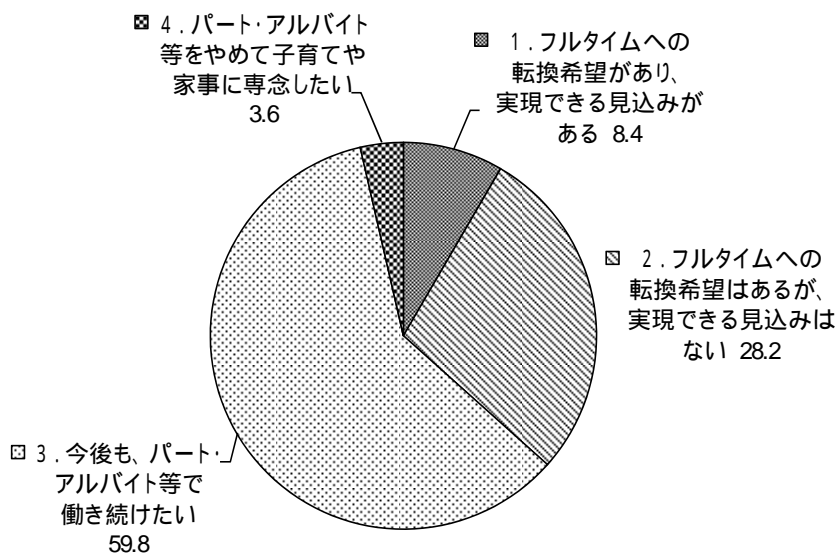


## (2) 現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望

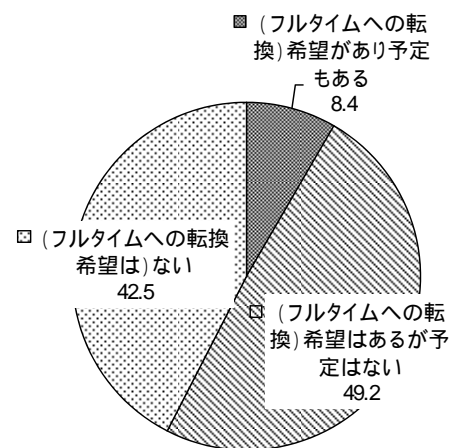
現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望は、「今後も、パート・アルバイト等で働き続けたい」が60%前後に上ります。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30%弱です。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は『就学前』のほうがやや多く8.4%です。

前回調査と比較すると、現状のままパート等で働き続けることを希望する方が増えていると言えます。

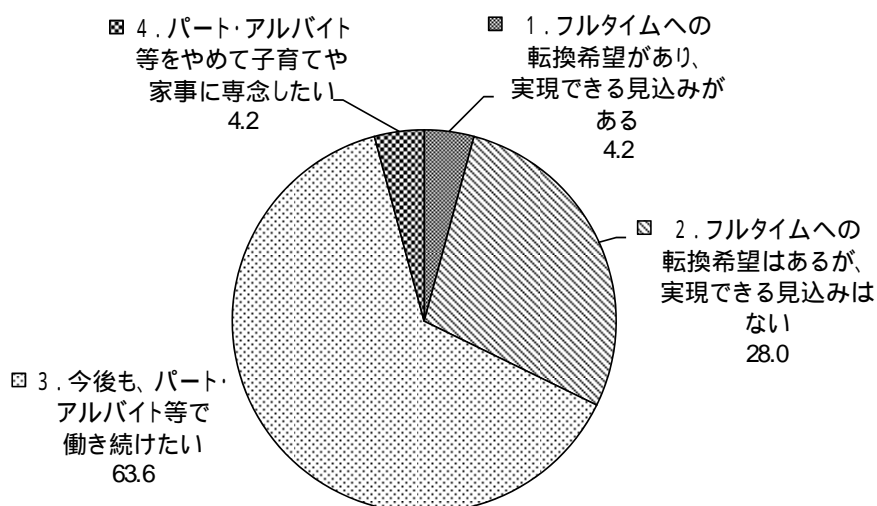
【就学前調査 N=450】



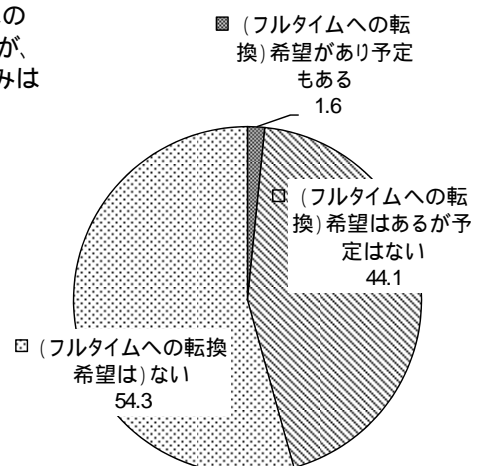
〔前回調査〕



【小学校調査 N=382】



〔前回調査〕

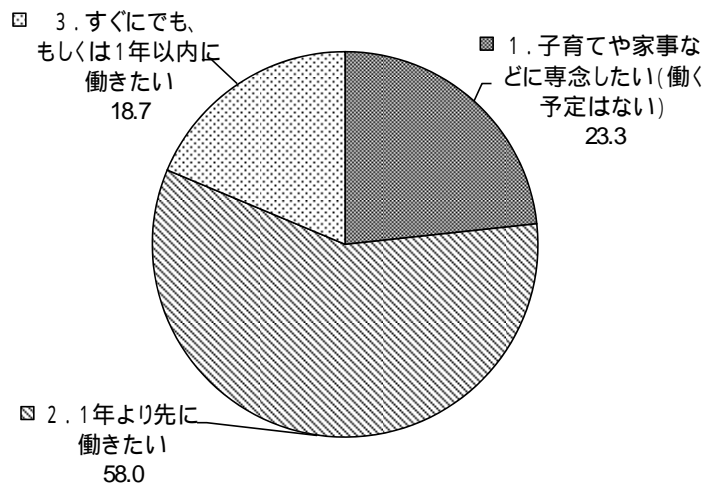


### (3) 現在働いていない方の働きたいという希望

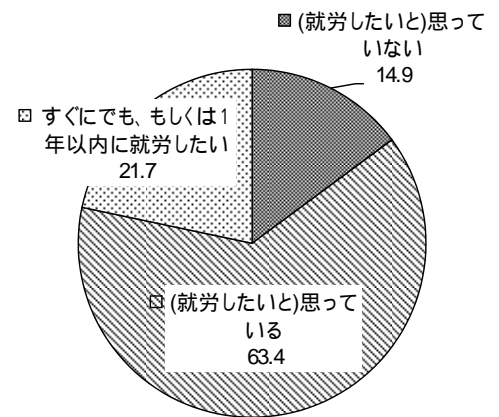
現在働いていない方の就労希望は、「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」方が『就学前』で約20%、『小学校』で約30%です。また、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい」を合わせると、『就学前』の80%弱、『小学校』の70%弱が「働きたい」と考えていることになります。一方、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」方は『就学前』で20%強、『小学校』で30%強に上ります。

前回調査と比較すると、『就学前』『小学校』ともに働きたいと思っている方の割合は若干減っており、現状のまま、家事専業であることを選ぶ方がやや増加していると言えます。

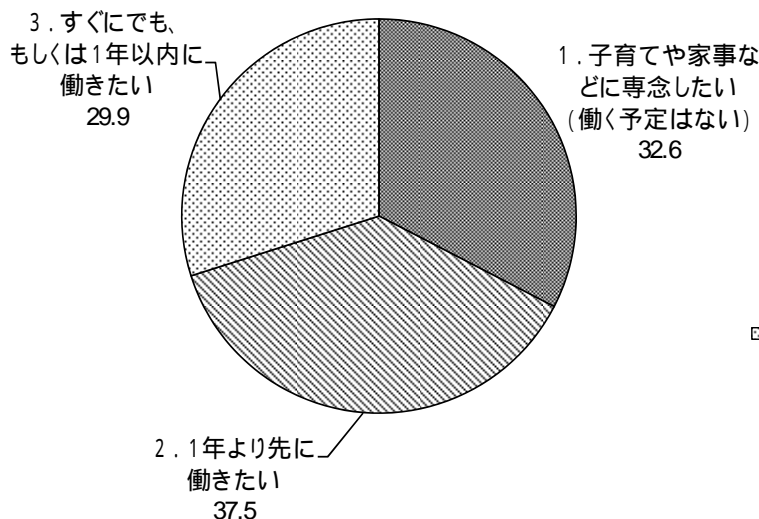
【就学前調査 N=919】



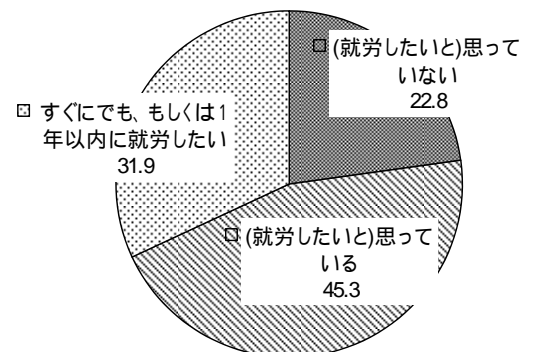
〔前回調査〕



【小学校調査 N=224】



〔前回調査〕





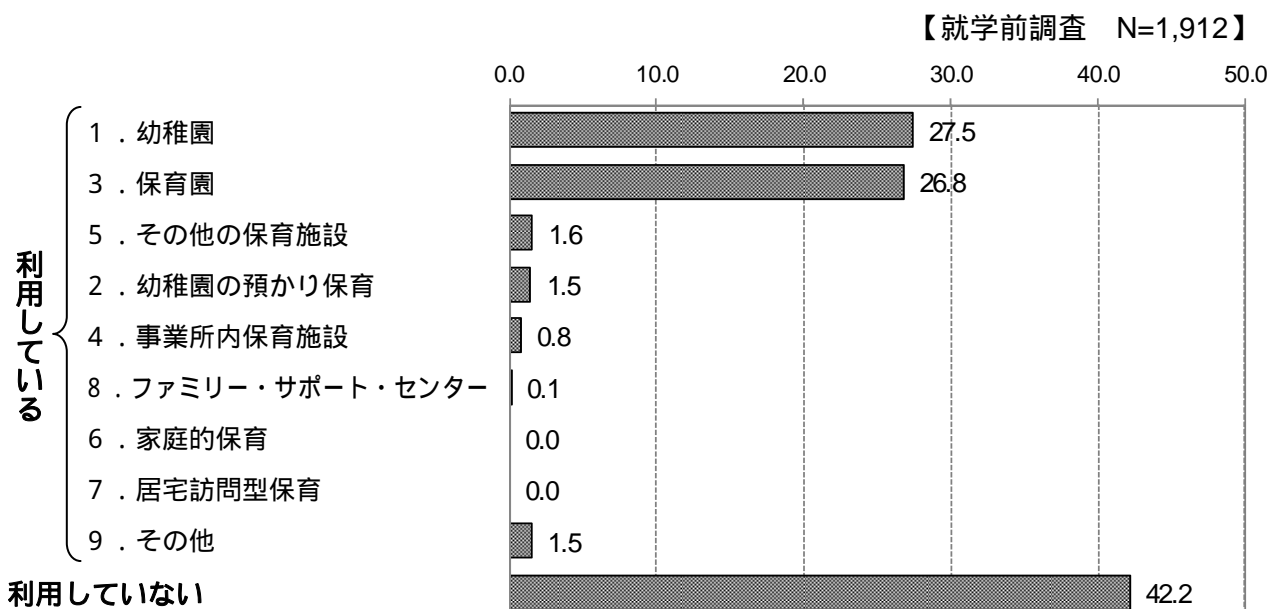
### 3. 教育・保育事業の利用状況と利用希望

#### (1) 幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」の利用状況

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が60%弱であり、内訳としては「幼稚園」と「保育園」が多く、その差は僅かです。

年齢別にみると、『0歳』は「利用していない」が約90%、『1歳』『2歳』で徐々に「保育園」の利用が増え、『3歳』以上になると「幼稚園」が最も多く、全体の40~60%が利用しています。「保育園」は『2歳』から『5歳』の子どもの30~40%が利用していることとなります。

母親の就労形態別にみると、『フルタイム』では「保育園」が80%を超えており、『パート・アルバイト等』でも50%を超えています。一方、『無職』では「幼稚園」が80%を超えており、『パート・アルバイト等』でも約40%となっています。



#### 年齢別集計

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
		<b>10.3</b>	<b>33.8</b>	<b>51.8</b>	<b>84.8</b>	<b>98.6</b>	<b>99.3</b>
利用している	1. 幼稚園	0.8	1.1	10.8	43.3	61.5	62.4
	3. 保育園	8.1	25.9	30.2	38.5	36.4	36.6
	5. その他の保育施設	1.0	2.6	5.0	1.1	-	0.3
	2. 幼稚園の預かり保育	-	0.4	-	2.2	4.1	2.4
	4. 事業所内保育施設	0.6	1.9	1.4	-	0.3	0.7
	8. ファミリー・サポート・センター	-	-	0.4	0.4	-	-
	9. その他	0.4	2.3	5.8	1.9	-	-
利用していない		<b>89.7</b>	<b>66.2</b>	<b>48.2</b>	<b>15.2</b>	<b>1.4</b>	<b>0.7</b>
N値(人)		493	266	278	270	291	287

家庭的保育、居宅訪問型保育は省略

**就労形態別集計**

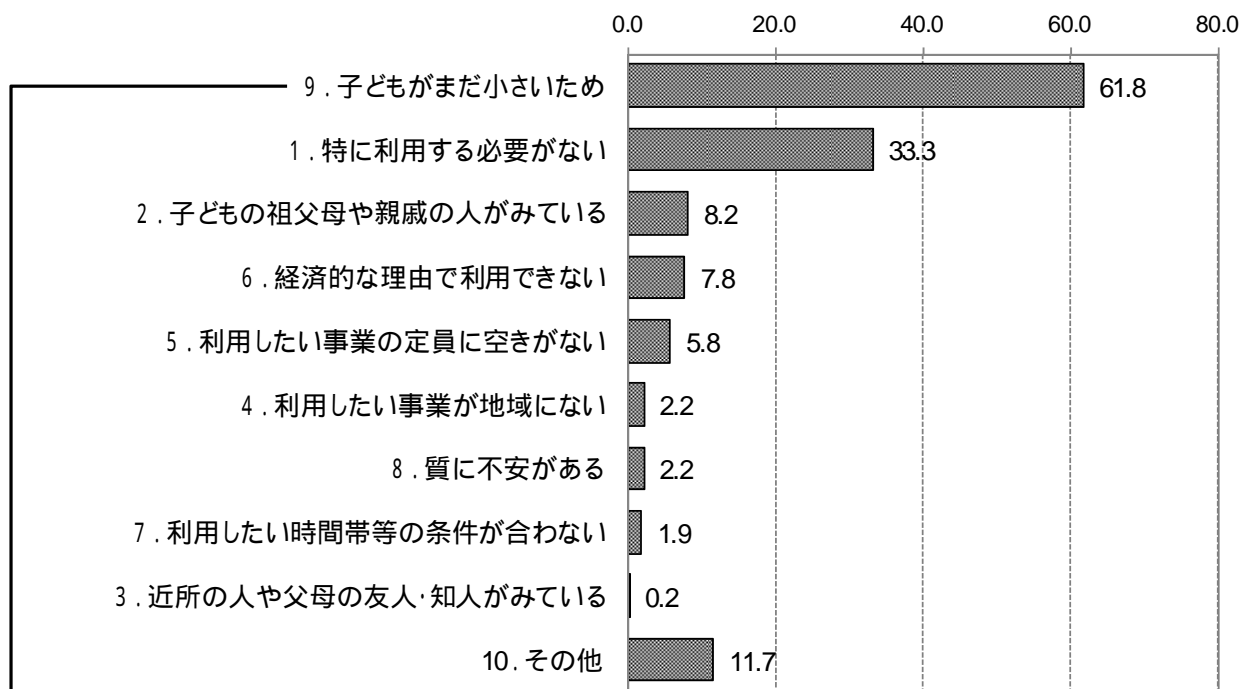
		フルタイム	パート・アルバイト等	無職
		<b>69.1</b>	<b>80.2</b>	<b>41.7</b>
利用している	1. 幼稚園	6.5	30.8	36.0
	3. 保育園	59.5	43.7	3.0
	5. その他の保育施設	1.5	3.7	0.6
	2. 幼稚園の預かり保育	1.3	3.1	0.8
	4. 事業所内保育施設	1.7	1.3	-
	8. ファミリー・サポート・センター	-	0.2	0.1
	9. その他	0.2	1.3	2.3
<b>利用していない</b>		<b>30.9</b>	<b>19.8</b>	<b>58.3</b>
N 値(人)		317	365	402

家庭的保育、居宅訪問型保育は省略

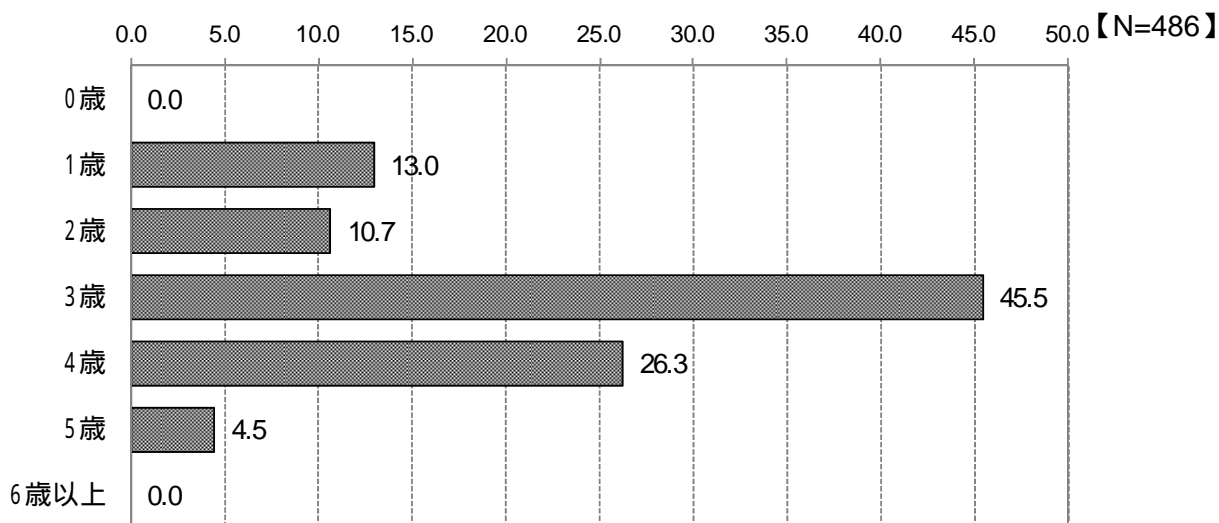
## (2) 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない方の理由

教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が約60%、次いで、「特に利用する必要がない」が約30%です。一方、経済的な理由、定員に空きがないなど、利用したいができないという方はいずれも10%未満ですが、一定割合あることが分かります。

【就学前調査 N=806 / 複数回答】



《平日の定期的な教育・保育を利用しようと考えている年齢》



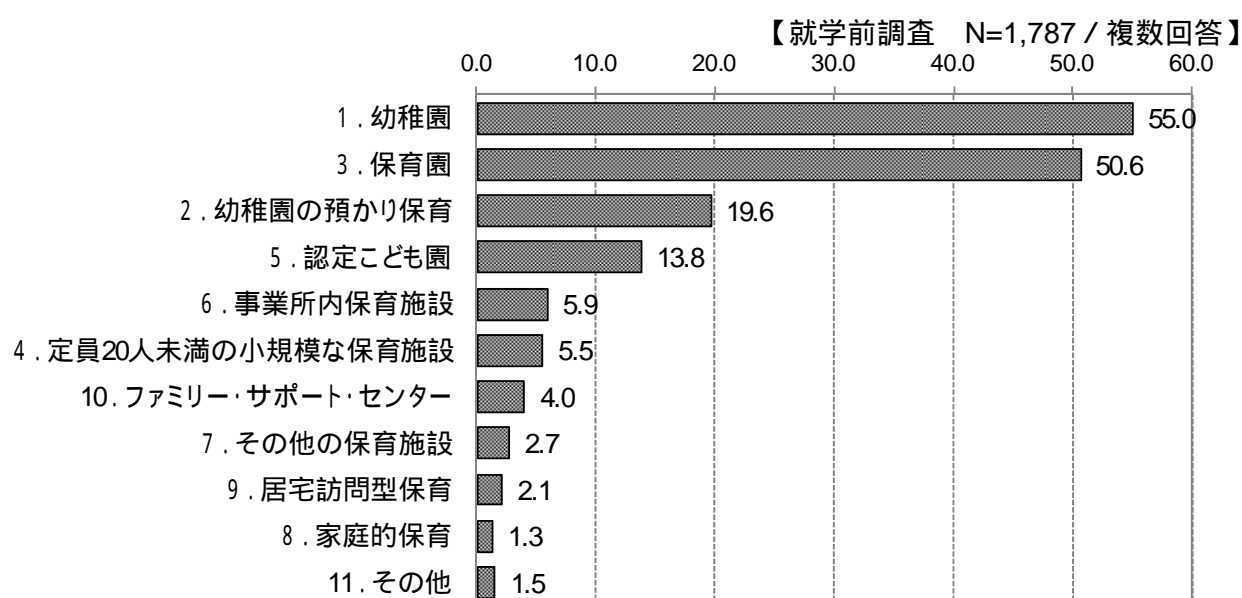
子どもが「3歳」くらいになったら利用しようと考えている方が最も多く、50%近くに上ります。

### (3) 平日の「定期的な教育・保育の事業」の利用意向

平日に定期的にご利用したい教育・保育事業については、「幼稚園」が最も多く、僅かな差で「保育園」が続き、これらは50%以上に上ります。また、「幼稚園の預かり保育」も約20%、「認定子ども園」が15%弱です。

年齢別にみると、『0歳』と『1歳』では「保育園」が60%を超えていますが、『2歳』以上で徐々にその割合を下げ、逆に「幼稚園」の利用希望が『2歳』以上では50%を上回り、割合も増えています。「認定子ども園」の利用希望は『0歳』と『1歳』で比較的多いと言えます。

母親の就労希望形態別にみると、『フルタイム』では「保育園」が、『無職』では「幼稚園」がそれぞれ80%近くに上ります。一方、『パート・アルバイト等』では、「幼稚園」が約55%、「保育園」が約50%と、僅かに「幼稚園」の希望が上回っています。



#### 年齢別集計

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 幼稚園	49.7	49.8	56.3	56.1	58.9	60.4
3. 保育園	63.0	62.7	50.2	43.5	36.9	41.5
2. 幼稚園の預かり保育	20.4	17.3	19.4	17.8	19.8	21.1
5. 認定こども園	17.2	19.3	11.8	12.3	11.0	10.0
6. 事業所内保育施設	8.6	5.2	5.3	4.7	4.9	5.2
4. 定員20人未満の小規模な保育施設	8.0	6.4	9.1	0.8	3.4	3.7
10. ファミリー・サポート・センター	4.5	3.6	6.1	2.4	4.2	3.3
7. その他の保育施設	3.7	4.0	3.4	2.0	1.1	1.9
9. 居宅訪問型保育	2.4	2.8	1.9	0.4	1.9	3.3
8. 家庭的保育	1.5	1.2	1.9	0.4	1.5	1.5
11. その他	2.4	2.0	0.4	1.2	0.8	1.5
N値(人)	465	249	263	253	263	270

**就労希望形態別集計**

	フルタイム	パート・アルバイト等	無職
1．幼稚園	25.1	55.8	79.9
3．保育園	77.3	50.9	27.5
2．幼稚園の預かり保育	19.7	22.1	18.9
5．認定こども園	18.8	12.7	10.4
6．事業所内保育施設	8.8	5.9	3.5
4．定員 20 人未満の小規模な保育施設	6.7	3.8	4.9
10．ファミリー・サポート・センター	5.2	2.7	3.5
7．その他の保育施設	2.9	2.7	2.1
9．居宅訪問型保育	2.3	1.3	2.5
8．家庭的保育	1.0	1.1	1.5
11．その他	1.5	0.8	1.8
N 値 (人)	613	371	713

## 4. 子育て支援事業の利用について

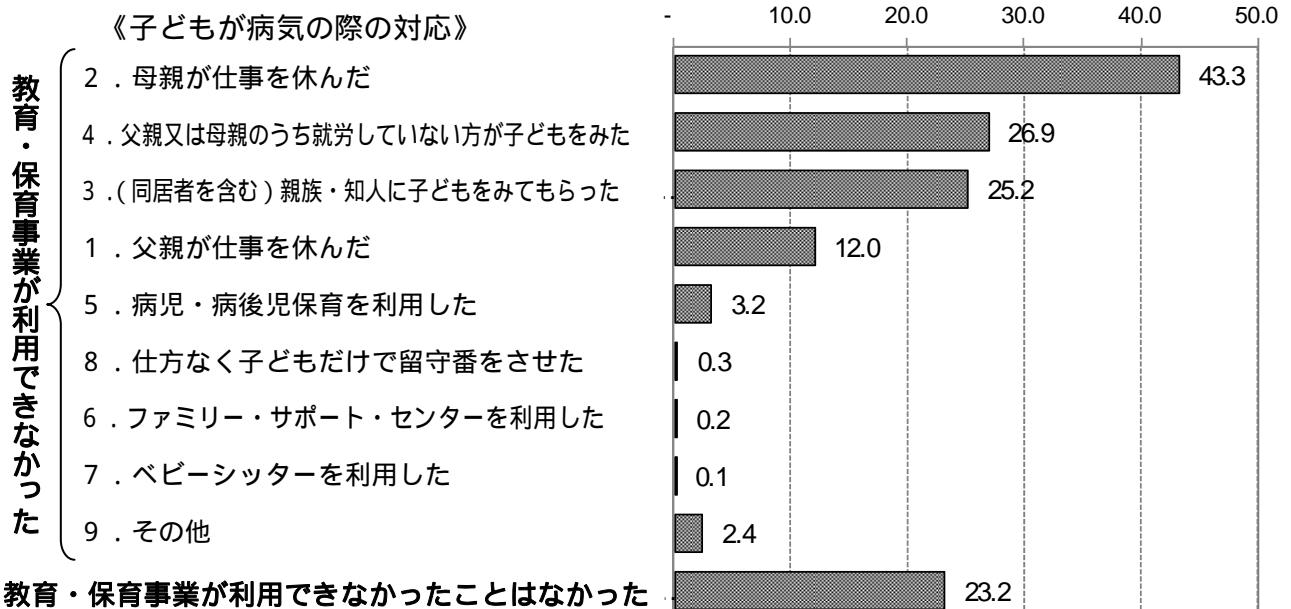
### (1) 子どもが病気の際の対応について

この1年間に、お子さんが病気やけがでいつも利用している教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」方が全体の4分の3に上ります。

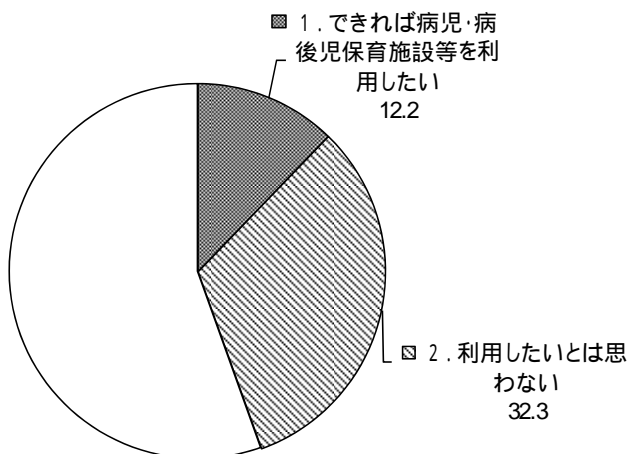
その時の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が最も多く、全体の40%以上に上ります。その一方、「病児・病後児保育を利用した」は少数でした。

母親または父親が仕事を休んだ際に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った方は全体の10%強となっており、一定割合のニーズが認められます。

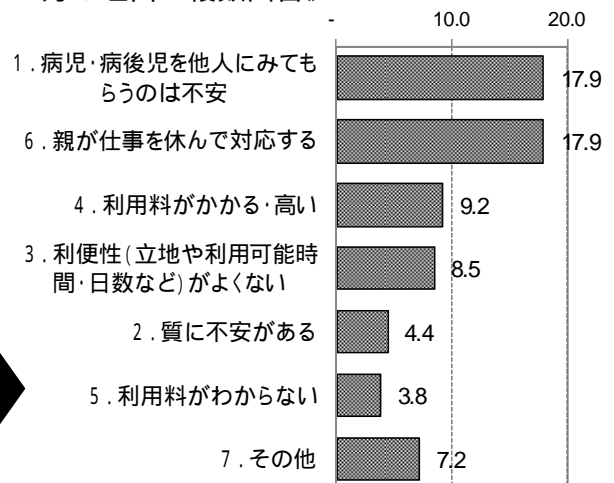
逆に、「利用したいとは思わない」方の理由は、「他人に見てもらうのは不安」や「親が仕事を休んで対応」などが多くなっています。



### 《仕事を休んだと回答した父親又は母親の病児・病後児保育の利用希望》



### 《病児・病後児保育を利用したいと思わない方の理由 / 複数回答》

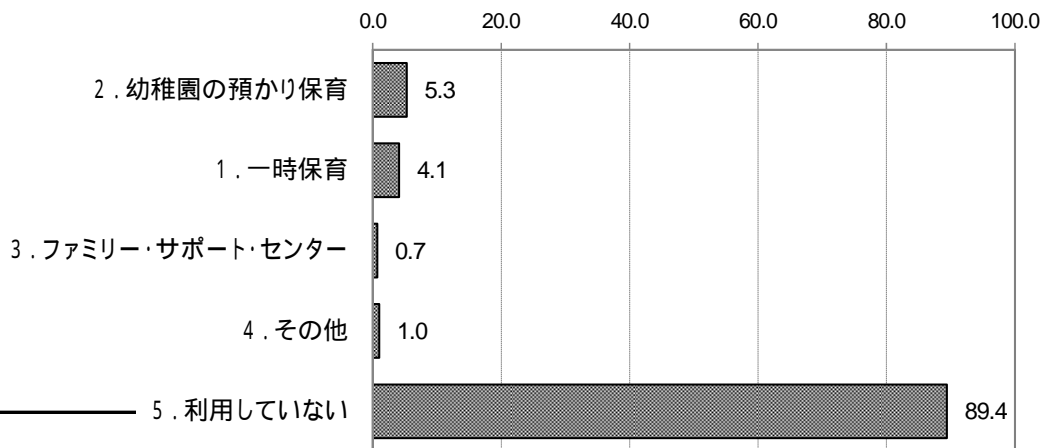


## (2) 現在、不定期に利用している事業

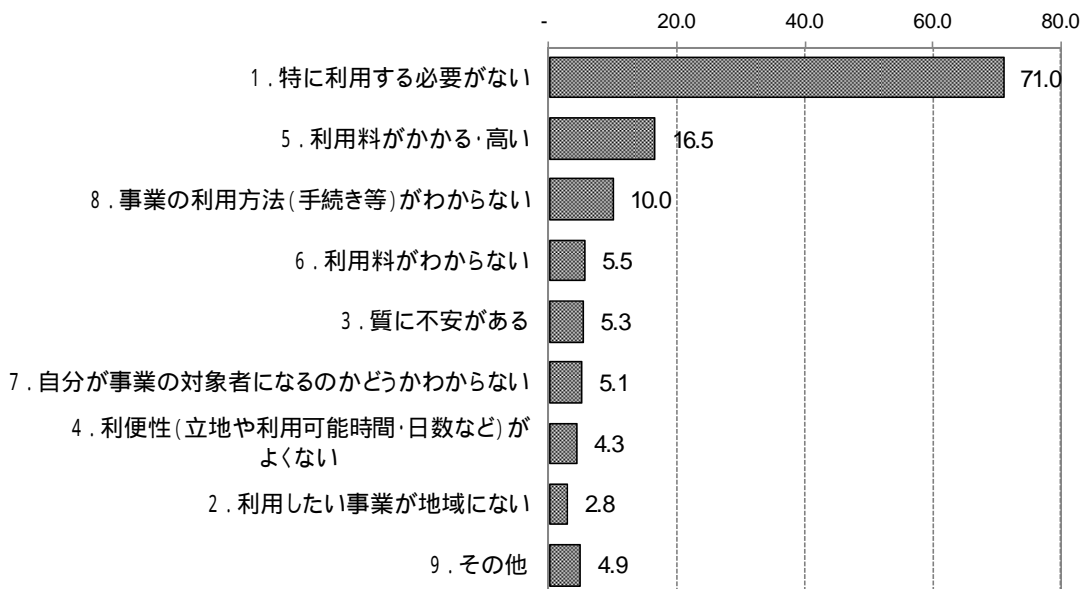
不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が5.3%、「一時保育」が4.1%、「ファミリー・サポート・センター」が0.7%、「その他」が1.0%と少なく、「利用していない」が89.4%を占めています。

不定期の教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が全体の71.0%に上ります。一方、「事業の利用方法」や「利用料」、「事業の対象者」などがわからないこと、及び、「利用料」や「事業の質」、「利便性」、「事業が地域にない」など、内容や条件等を要因とする方も一定割合に上ります。

【就学前調査 N=1,895 / 複数回答】



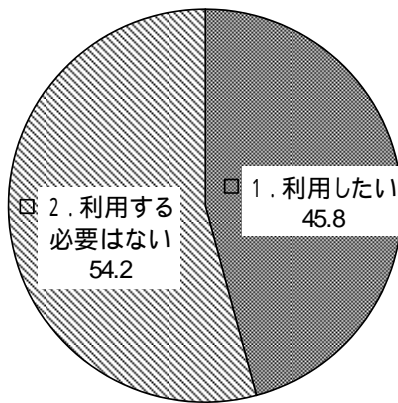
《不定期の事業を利用していないと回答した方の理由 / 複数回答》



### (3) 不特定の事業の利用希望

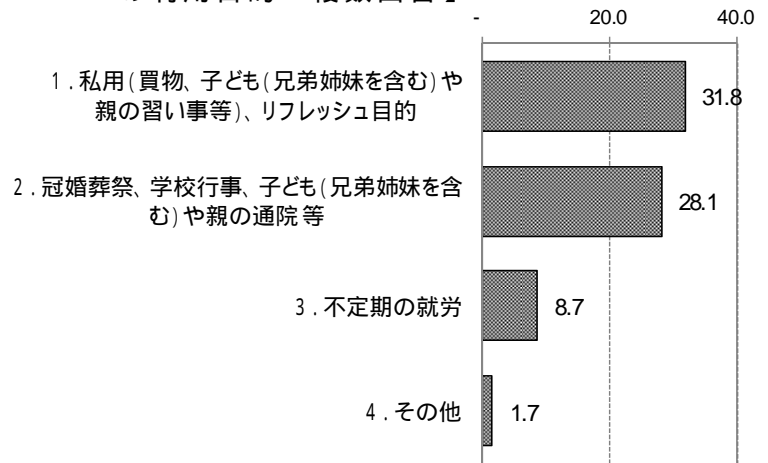
不特定の今後事業を「利用したい」方は約45%、「利用する必要はない」方は約55%となっています。

不特定の事業を利用する場合、「私用、リフレッシュ目的」と「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が全体の約30%前後である一方、「不特定の就労」で事業を利用したい方は10%弱となっています。



【就学前調査 N=1,855】

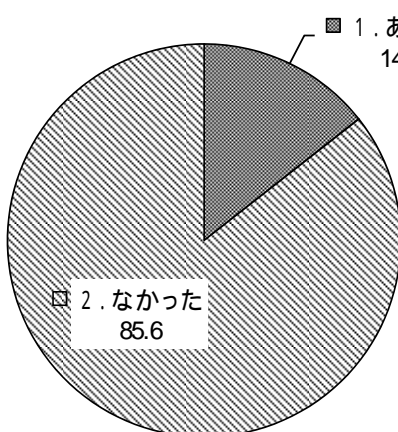
《不特定の事業を利用したいと回答した方の利用目的 / 複数回答》



### (4) 泊まりがけで預けなければならなかったことの有無

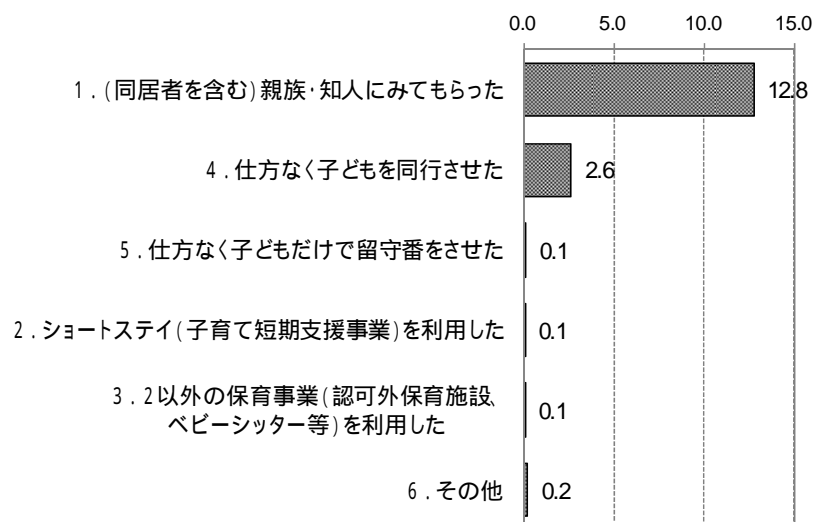
この1年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」方は約15%です。

その際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が全体の10%強で、該当者の中では大半を占めます。一方、全体の2.6%ながら「仕方なく子どもを同行させた」方もいました。



【就学前調査 N=1,856】

《泊まりがけで預けなければならなかった場合の対処方法 / 複数回答》

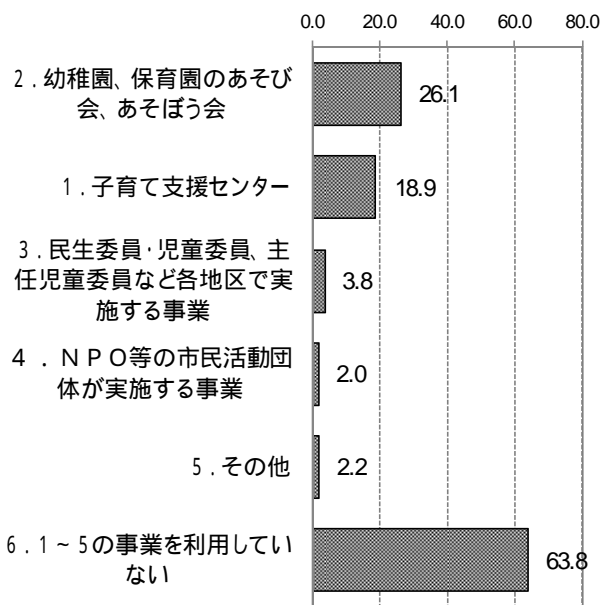




## (5) 子育て支援センター等の利用状況

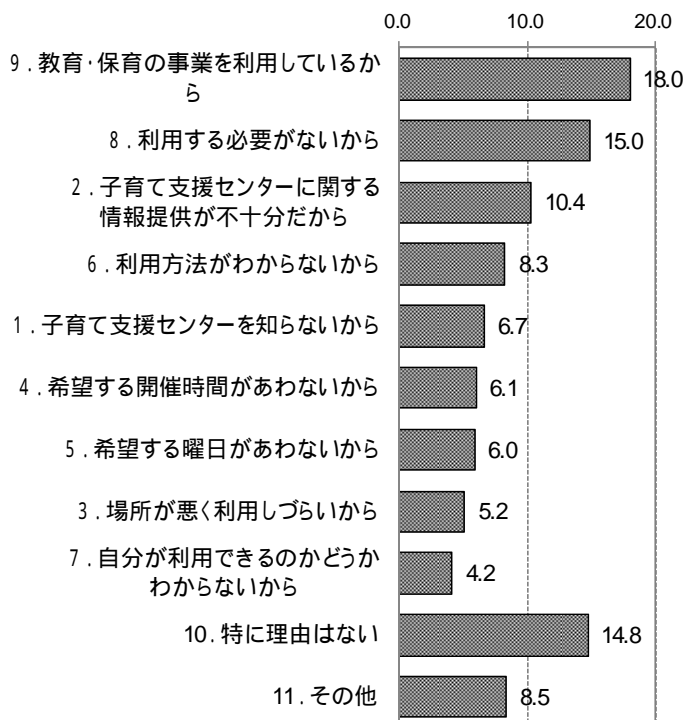
親子が集まって交流や相談の場を提供する事業等の利用状況は、「利用していない」が60%以上に上り、特に「子育て支援センター」を利用していない理由としては、「教育・保育の事業を利用している」や「必要がない」などが多いものの、情報不足や利用方法がわからないこと、及び利用条件が合わないことも一定割合に上ります。

事業の利用状況を年齢別にみると、「幼稚園、保育園のあそび会、あそぼう会」の利用は『2歳』で50%近くに上り、『0歳』『1歳』でも30%を上回っています。また、「子育て支援センター」の利用は『0歳』『1歳』『2歳』で約30%に上っています。



【就学前調査 N=1,846 / 複数回答】

### 《子育て支援センターを利用していない方の理由 / 複数回答》



### 年齢別集計

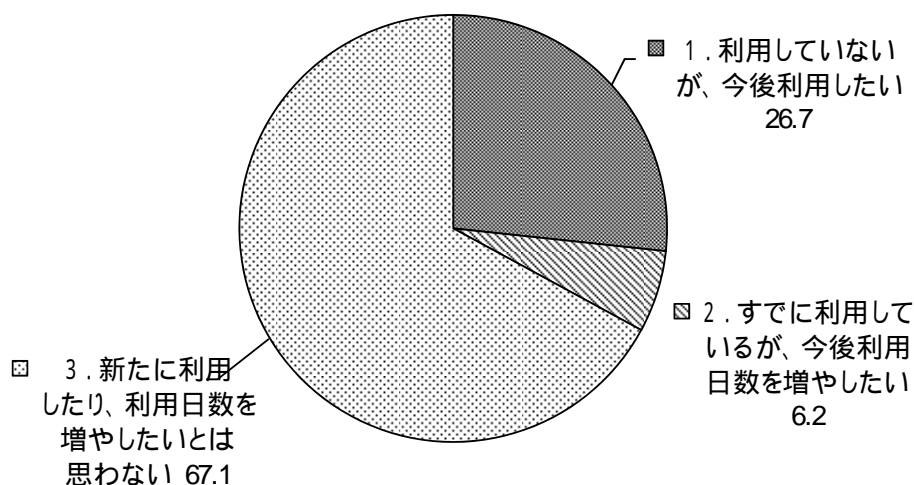
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
2. 幼稚園、保育園のあそび会、あそぼう会	31.4	39.2	48.2	18.0	9.5	6.2
1. 子育て支援センター	27.8	30.0	28.7	11.3	5.8	4.3
3. 民生委員・児童委員、主任児童委員など各地区で実施する事業	3.6	9.1	5.1	3.1	1.5	1.1
4. NPO等の市民活動団体が実施する事業	1.5	2.7	0.4	4.3	2.2	1.8
5. その他	2.3	2.7	2.6	3.9	0.7	1.4
6. 1～5の事業を利用していない	53.3	46.8	44.1	73.8	83.6	88.0
N値(人)	478	263	272	256	275	276

## (6) 子育て支援センターの今後の利用希望

今後、地域子育て支援センターを利用したいかどうかについては、「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合わせて、約3分の1の方が利用意向を持っています。

年齢別にみると、『0歳』では「利用していないが、今後利用したい」が50%を上回っています。また、『0歳』『1歳』では「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」も10%強に上ります。

【就学前調査 N=1,454】



### 年齢別集計

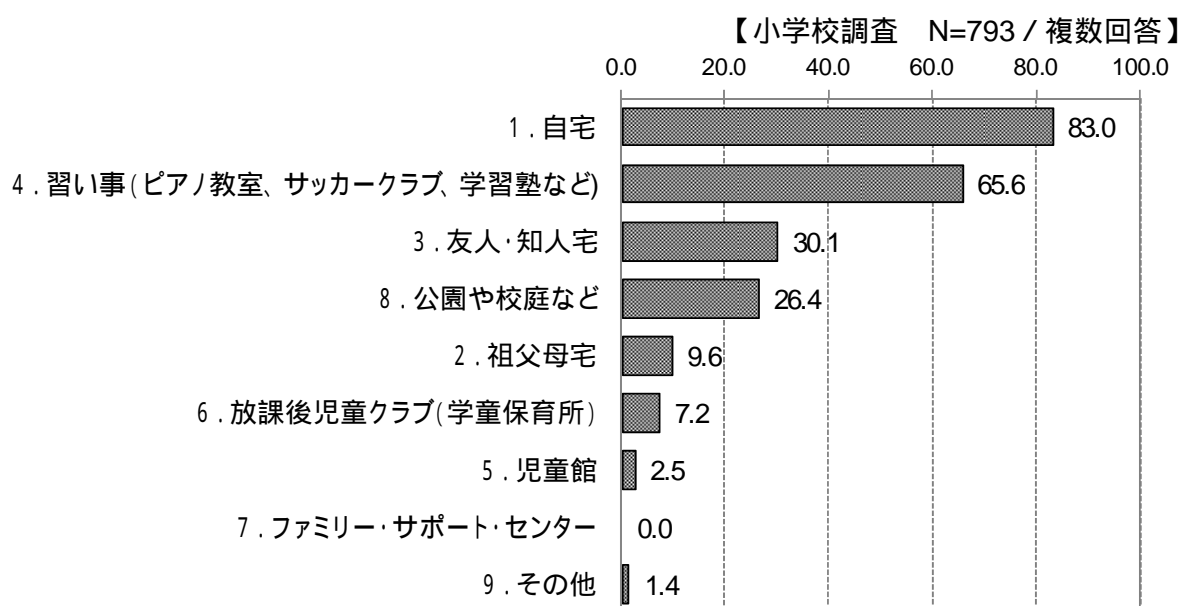
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 利用していないが、今後利用したい	52.0	31.3	24.0	14.0	9.5	12.1
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	11.9	10.8	6.7	1.9	1.8	0.4
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	36.1	57.9	69.2	84.1	88.7	87.5
N値(人)	377	195	208	207	222	224

## 5 . 小学生の放課後の過ごし方

### (1) 現在、放課後を過ごす場所

現在のお子さんの放課後の過ごし方については、「自宅」が80%以上に上り、「習い事」も60%を超えています。一方、「放課後児童クラブ(学童保育所)」は7.2%、「児童館」は2.5%となっており、「ファミリー・サポート・センター」の利用はありません。

学年別にみると、いずれの学年も「自宅」が80%以上に上ります。「放課後児童クラブ(学童保育所)」については、低学年のほうが比較的多く、『1年生』と『3年生』の利用が10%を超えています。



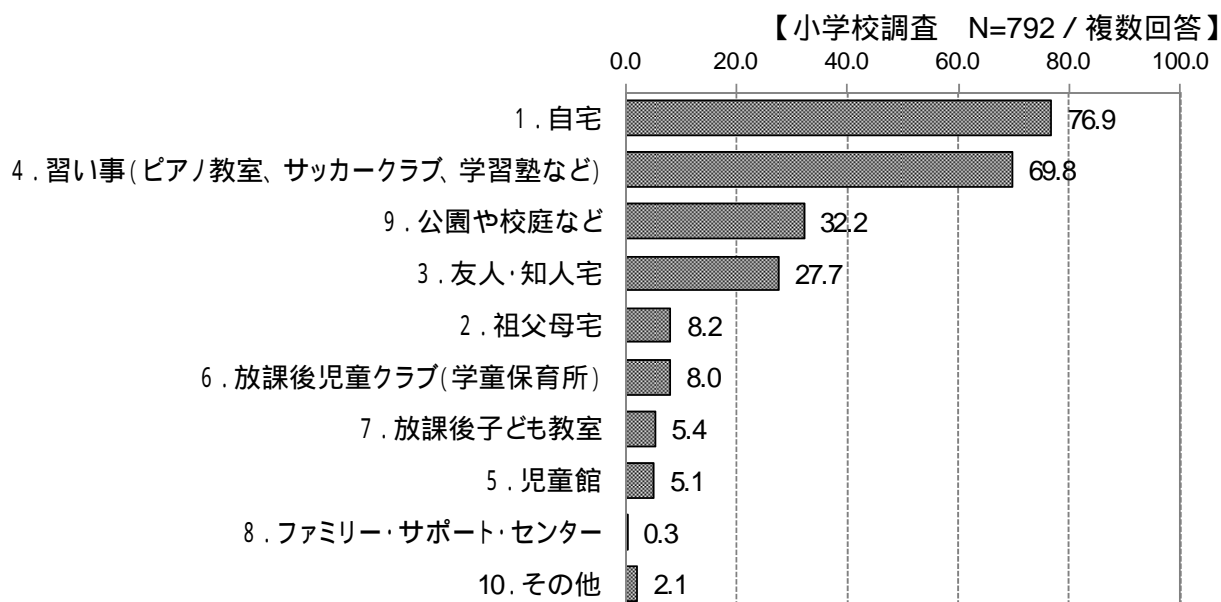
### 学年別集計

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	80.0	87.8	81.0	85.3	80.3	84.0
4. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	55.4	67.0	69.0	63.2	65.6	71.6
3. 友人・知人宅	26.9	33.0	33.3	31.6	31.1	26.5
8. 公園や校庭など	20.8	31.3	31.7	22.1	27.9	25.9
2. 祖父母宅	9.2	8.7	12.7	8.8	11.5	6.8
6. 放課後児童クラブ(学童保育所)	14.6	7.0	10.3	5.9	4.9	1.9
5. 児童館	3.1	0.9	4.0	5.1	1.6	0.6
7. ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-
9. その他	2.3	1.7	1.6	1.5	-	1.2
N 値(人)	130	115	126	136	122	162

## (2) 今後、放課後を過ごさせたいと思う場所

今後、どのような場所で放課後を過ごさせたいかについては、前ページの現在の過ごし方と大きくは傾向が変わらず、「自宅」が約 80%、「習い事」が約 70%です。一方、「放課後児童クラブ(学童保育所)」も現状と大きくは変わらず 8.0%でした。

学年別でも現在の過ごし方と同様であり、「放課後児童クラブ」については、『1年生』と『3年生』で 10%を超えています。



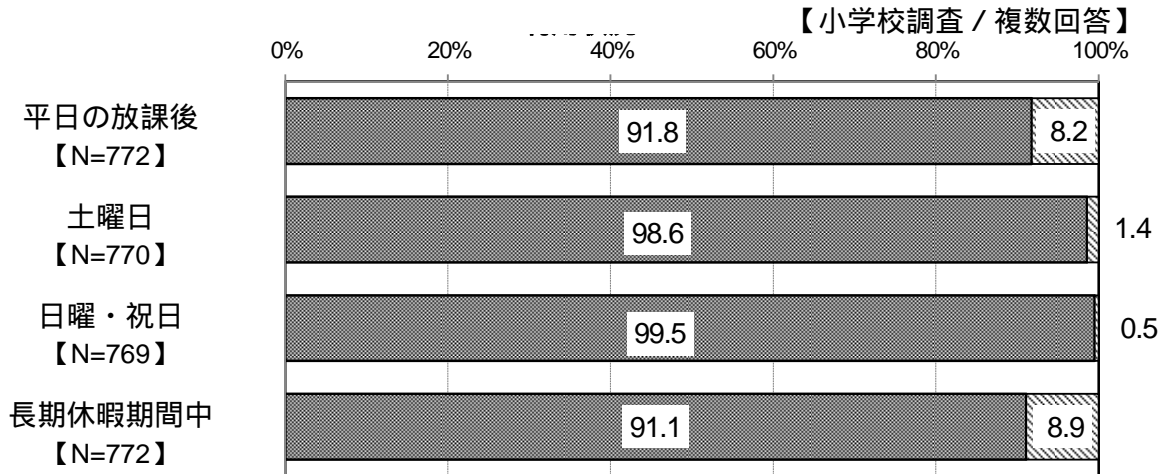
### 学年別集計

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	68.5	80.0	75.2	78.4	78.4	80.7
4. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	65.4	71.3	69.6	69.4	69.6	72.7
9. 公園や校庭など	30.8	36.5	38.4	28.4	28.8	31.7
3. 友人・知人宅	27.7	27.8	29.6	29.9	25.6	26.1
2. 祖父母宅	9.2	7.8	11.2	7.5	8.8	5.0
6. 放課後児童クラブ(学童保育所)	16.2	7.0	10.4	9.0	6.4	0.6
7. 放課後子ども教室	6.2	7.0	5.6	5.2	5.6	3.7
5. 児童館	6.9	2.6	7.2	7.5	4.0	2.5
8. ファミリー・サポート・センター	-	-	1.6	-	-	-
10. その他	1.5	2.6	3.2	2.2	0.8	2.5
N 値(人)	130	115	125	134	125	161

### (3) 放課後児童クラブ(学童保育所)の利用状況

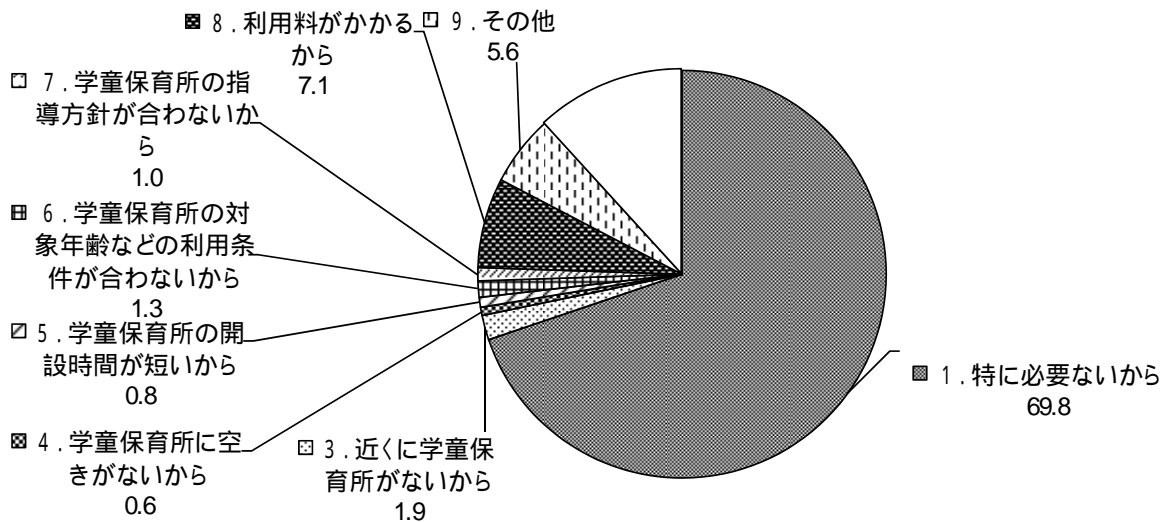
放課後児童クラブ(学童保育所)の利用状況は、平日の放課後と長期休暇期間中が8~9%となっています。

放課後児童クラブ(学童保育所)を利用していない理由は、「特に必要ないから」が全体の約70%を占めています。一方、「利用料がかかる」をはじめとして、利用したいができていないと考えられる方も合わせて20%弱に上ります。



■ 1. 利用していない    ▨ 2. 利用している

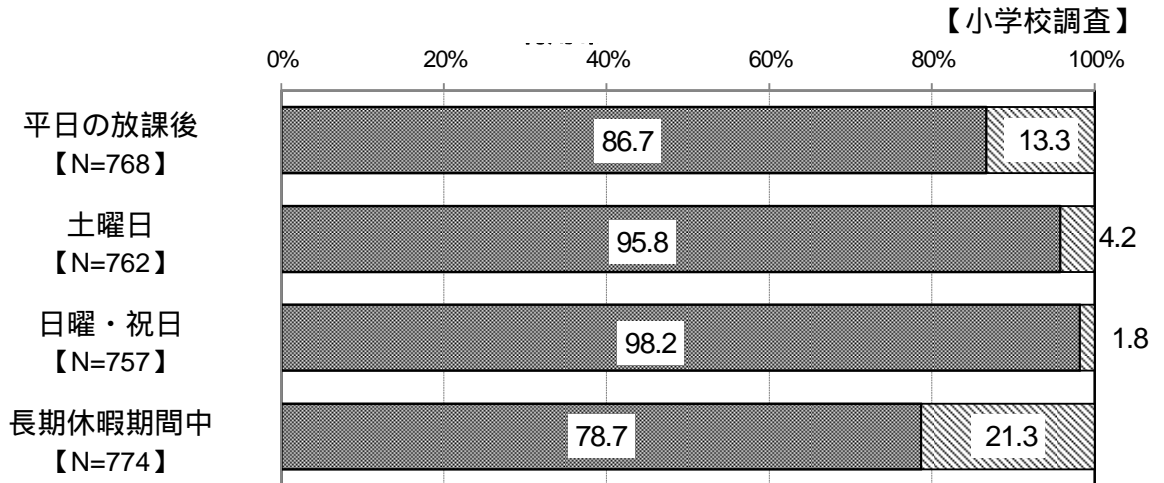
#### 《放課後児童クラブ(学童保育所)を利用していない理由》



#### (4) 放課後児童クラブ(学童保育所)の利用希望

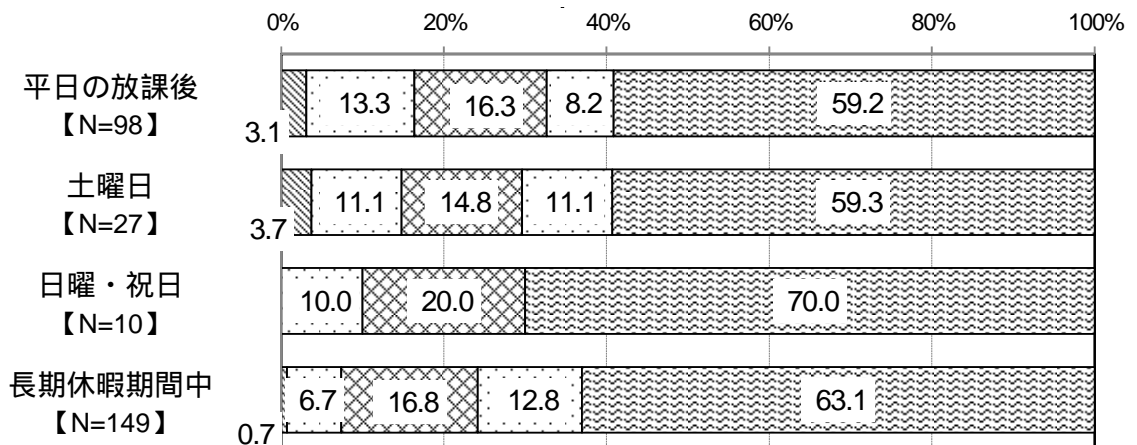
今後の放課後児童クラブの利用希望は、いずれも現在の利用状況よりも多く、平日の放課後で約5ポイント、長期休暇期間中で約14ポイント多くなっています。

利用したい場合、何年生まで利用したいかについては、平日の放課後、土曜日、日曜・祝日、長期休暇期間中のいずれも「6年生」まで利用したい方が最も多く、利用したい方のうちの約60~70%に上ります。



■ 1. 利用する必要はない    ▨ 2. 利用したい

《放課後児童クラブ(学童保育所)の利用を希望する学年(～年まで)》

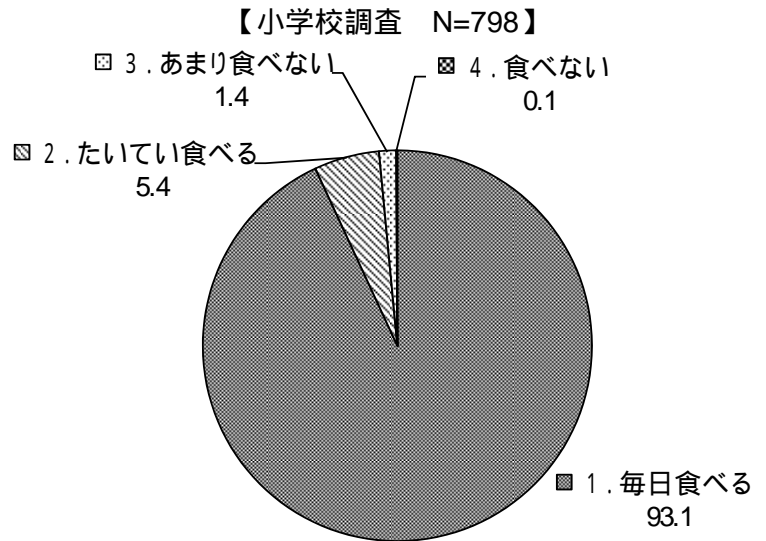


■ 1年    ▨ 2年    ▩ 3年    ▤ 4年    ▥ 5年    ▦ 6年

## 6 . 小学生の生活習慣

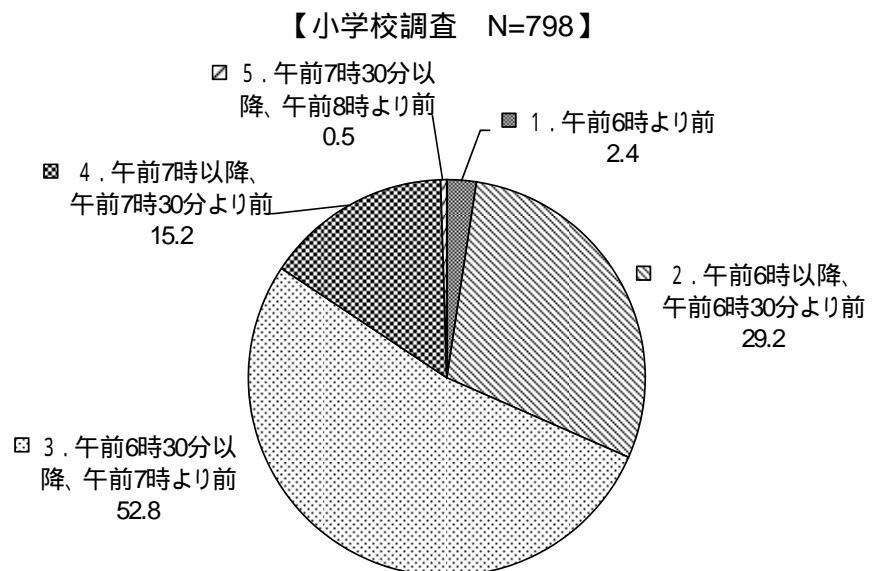
### (1) 朝食の摂取状況

朝食を「毎日食べる」お子さんが90%以上を占めています。



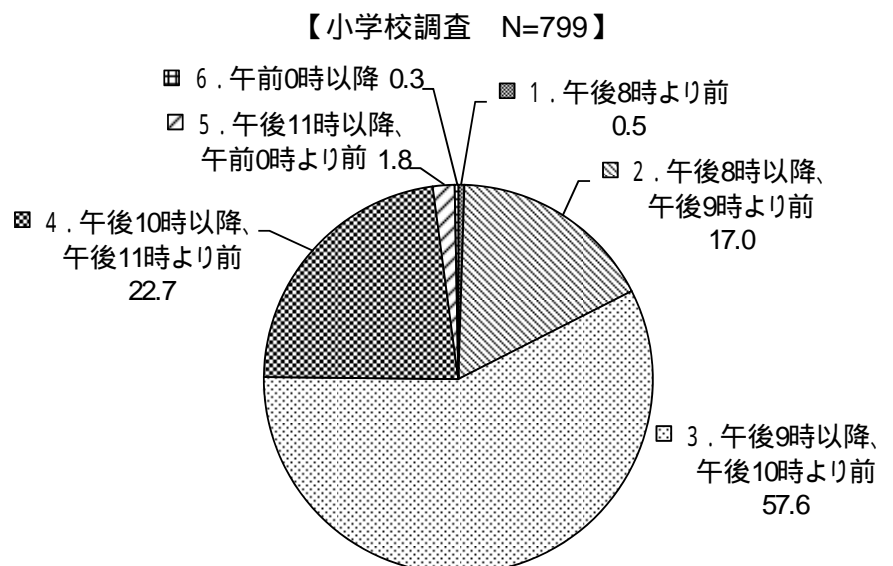
### (2) 起床時刻

お子さんのふだんの起床時間は、「午前6時30分～7時」が約50%で最も多く、「午前6時～6時30分」が約30%であり、午前6時台に起床する子どもが約80%を占めています。



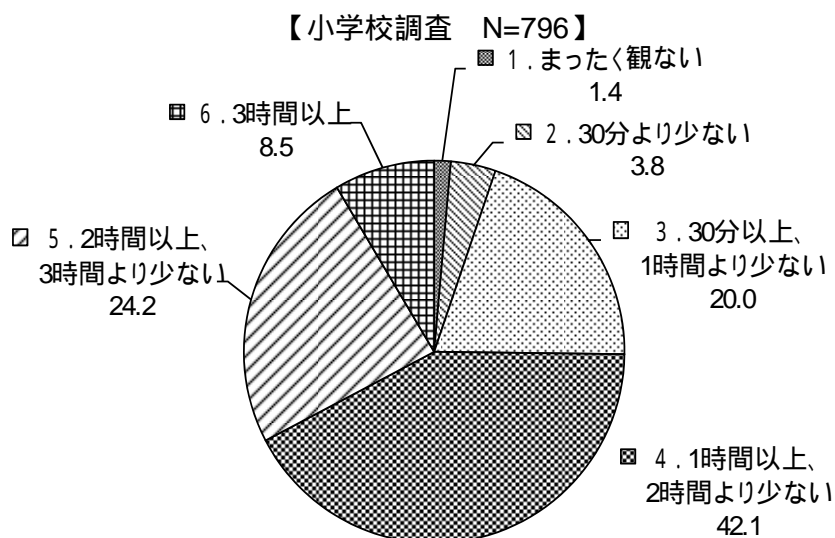
### (3) 就寝時刻

お子さんのふだんの就寝時間は、「午後9時～10時」が約60%弱に上り、「午後10時～11時」が約20%となっています。



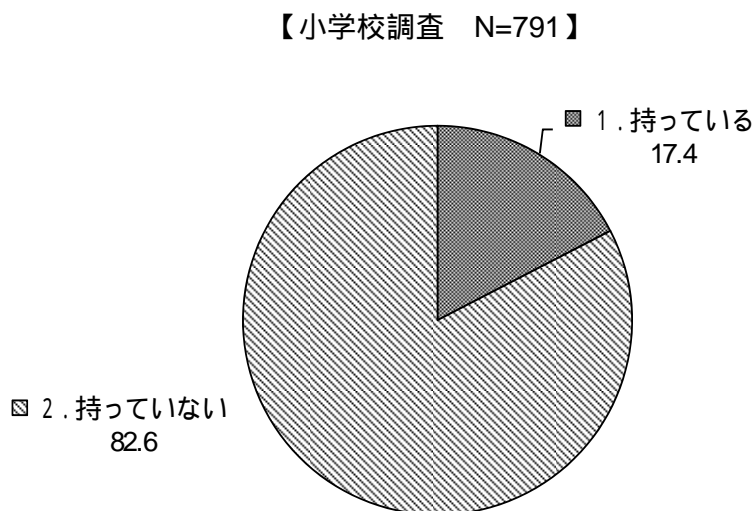
#### (4) テレビやビデオ・DVDの観賞時間

ふだん、テレビ等をどれくらいの時間観ているかについては、「1時間～2時間」が約40%で最も多く、「2時間～3時間」が約25%となっています。



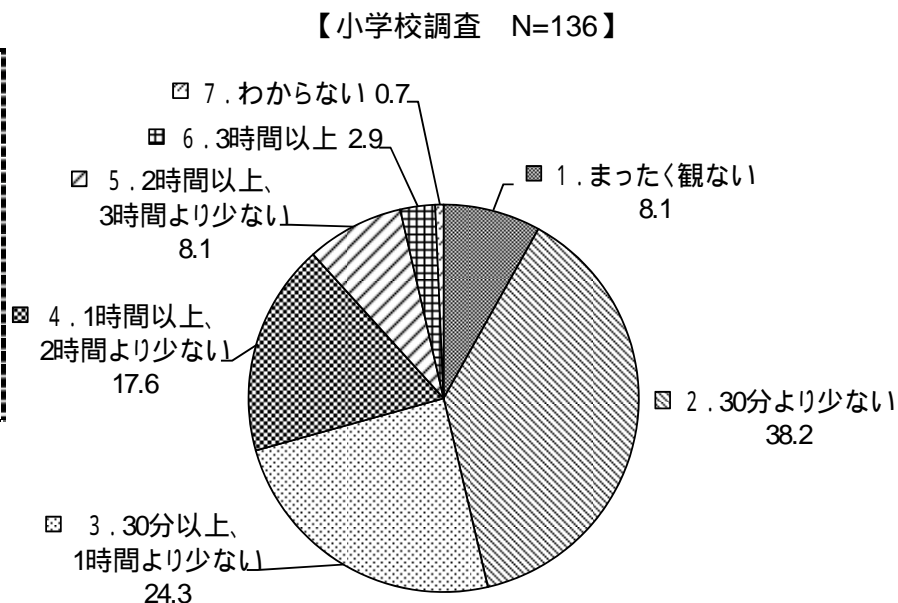
#### (5) 携帯電話・スマートフォン・パソコン等の所有状況

インターネットに接続できる自分用の携帯電話・スマートフォン・パソコン等を持っているかどうかについては、「持っている」が20%弱に上ります。



#### (6) インターネット・メール等の時間

1日当たり、携帯電話・スマートフォン・パソコン等をどれくらいの時間利用しているかについては、「30分より少ない」が約40%で最も多く、「30分～1時間」が約25%、「1時間～2時間」が20%弱となっています。



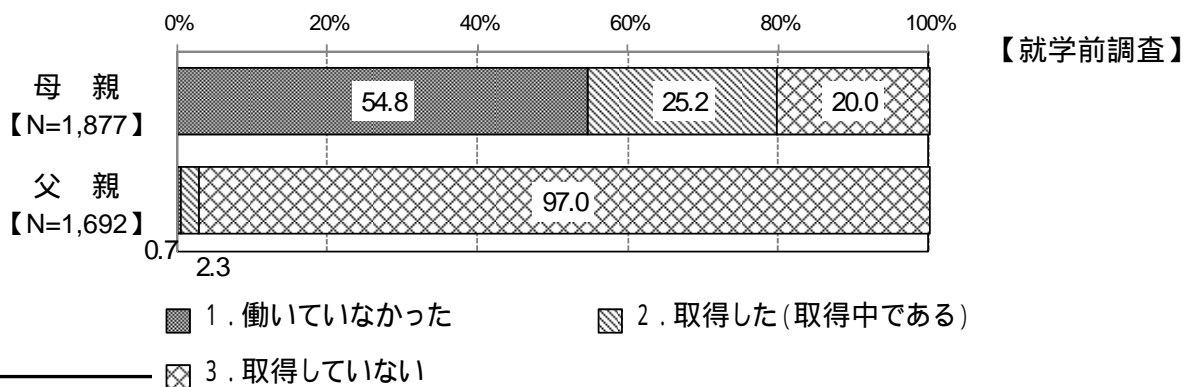


# 7. 職場の両立支援制度

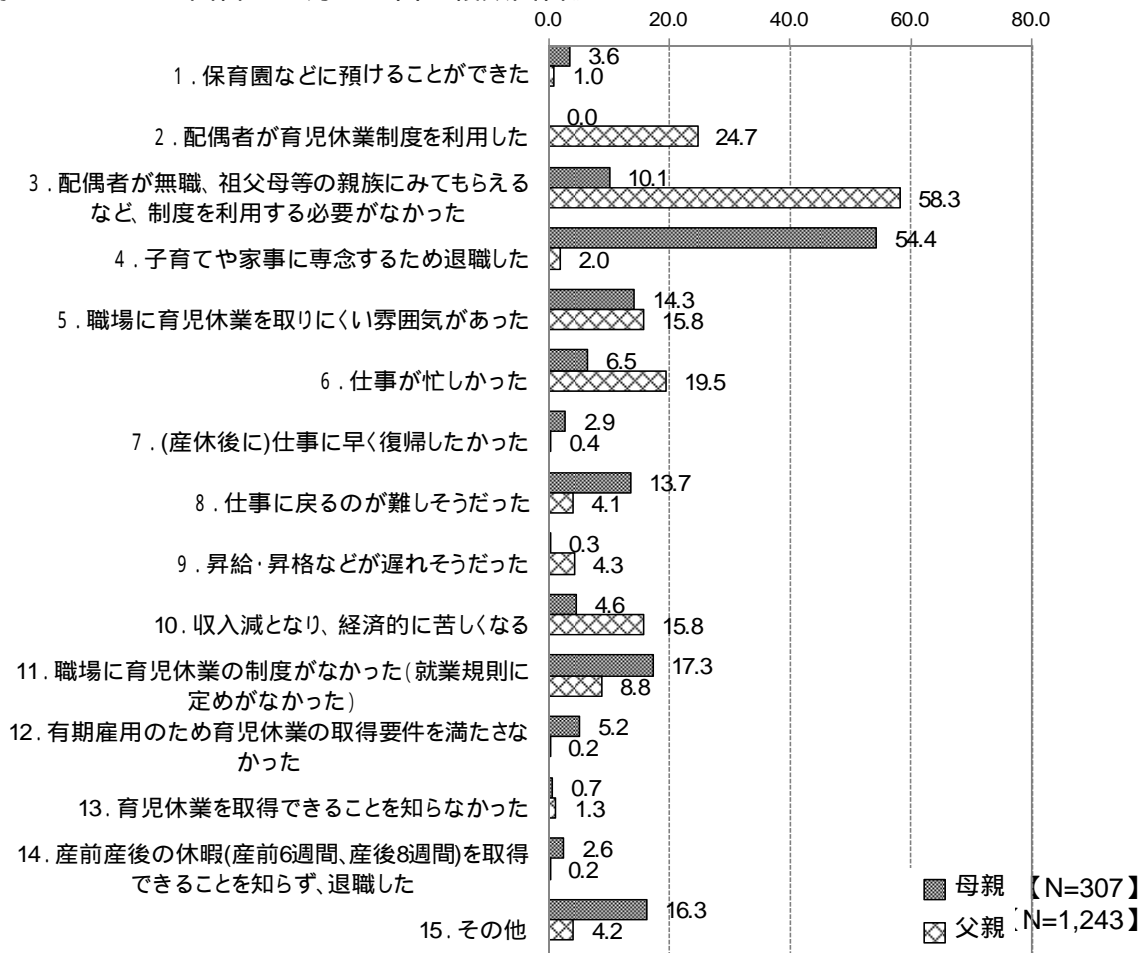
## (1) 育児休業の取得状況

育児休業の取得状況は、「母親」は「取得した(取得中である)」は約25%、「取得していない」は20%となっています。一方、「父親」の取得は僅かです。

育児休業を取得していない理由については、「母親」では「子育てや家事に専念するため退職した」が50%以上に上ります。父親では、「制度を利用する必要がなかった」が約60%に上り、「配偶者が育児休業制度を利用した」も約25%となっています。しかし、母親、父親とも「制度がなかった」や「取りにくい雰囲気があった」、「仕事に戻るのが難しそうだった」なども一定割合に上ります。



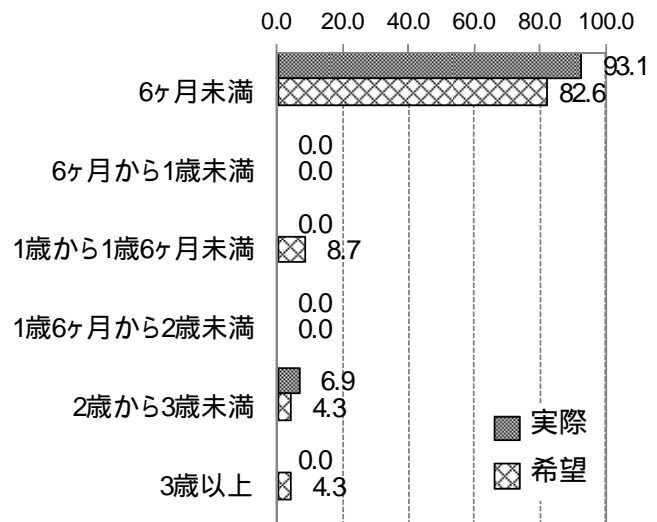
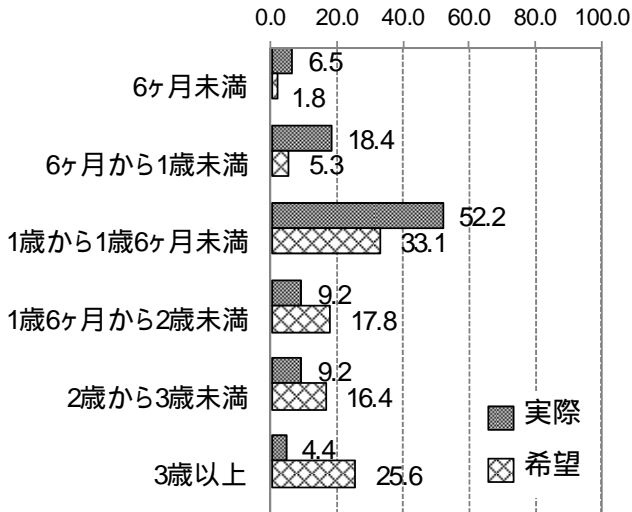
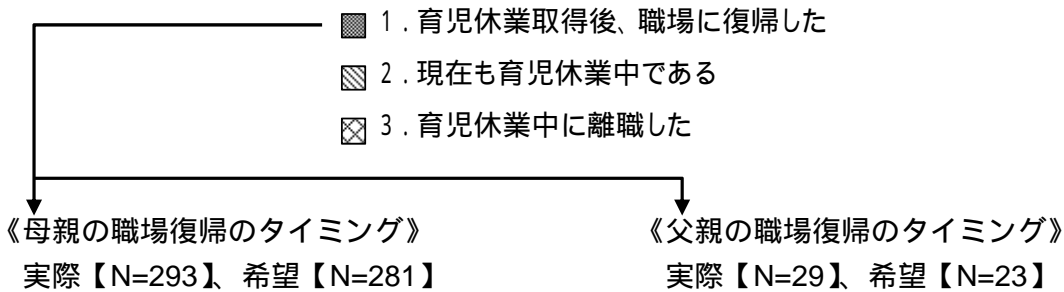
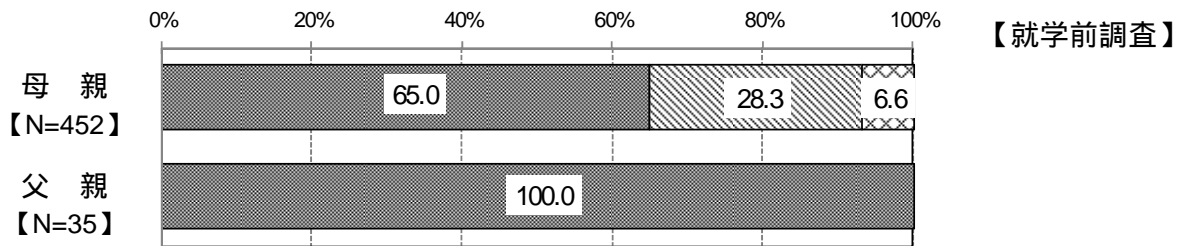
### 《取得していないと回答した方の理由 / 複数回答》



## (2) 職場復帰の状況

育児休業取得後に職場に復帰した方は、母親では65.0%、父親では100%となっています。

この方々が育児休業から職場に復帰したタイミングをみると、母親では、「1歳6か月～2歳」以降を希望されている方が合わせて約60%に上るのに対し、実際には「1歳～1歳6か月」までに復帰される方が合わせて75%以上に上ります。一方、父親では、希望、実際とも「6か月未満」が大半です。



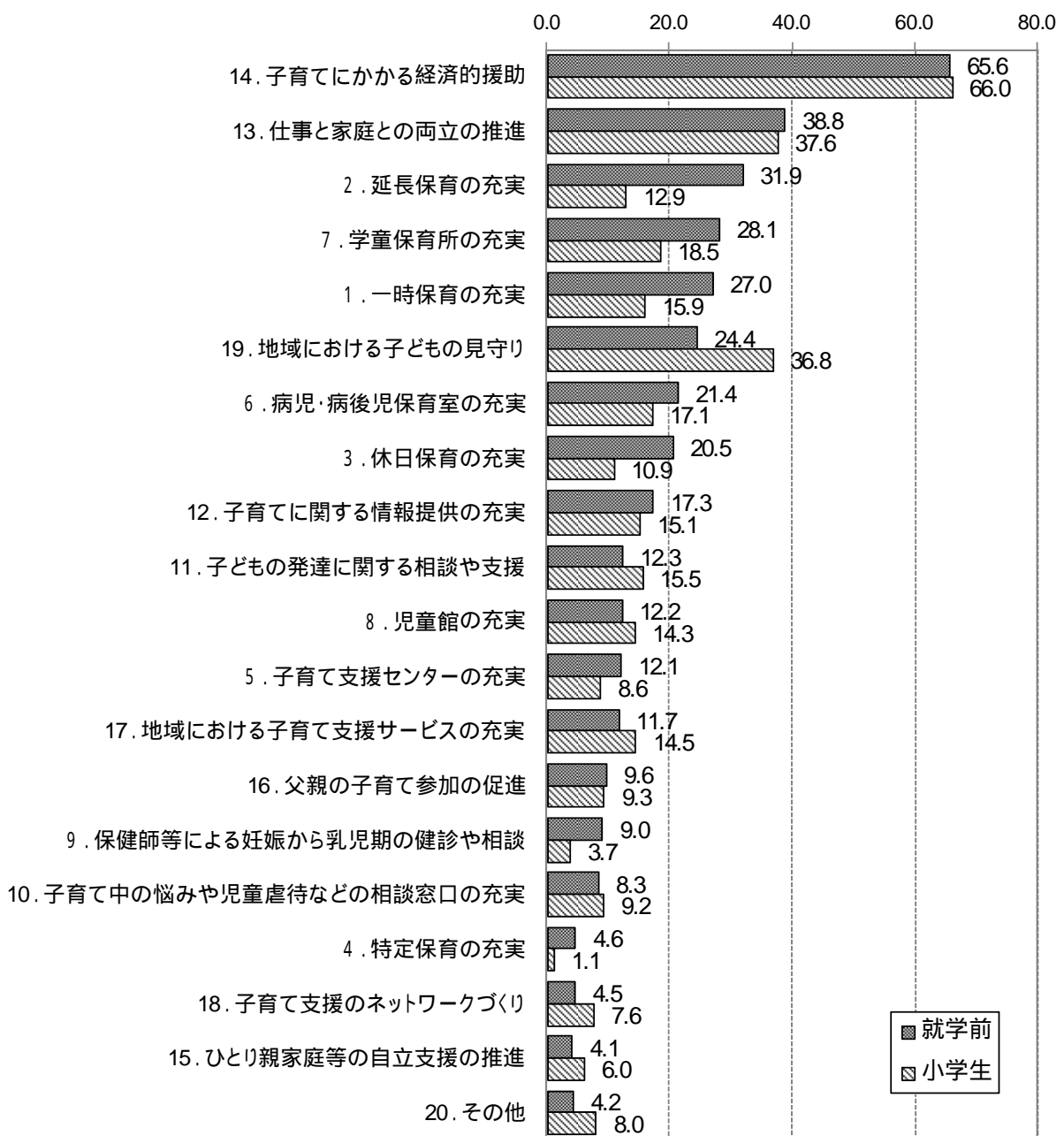
## 8 . 子育て全般

### (1) 今後、市に期待する施策

今後、市に期待する施策は、『就学前』『小学校』とも「子育てにかかる経済的援助」が最も多く、約65%に上ります。次いで、「仕事と家庭との両立の推進」がいずれも40%弱となっています。

『就学前』については、「延長保育の充実」、「学童保育所の充実」、「一時保育の充実」といった保育内容の充実に対する回答が30%前後で続きます。また、『小学校』については、「地域における子どもの見守り」が多くなっています。

【就学前調査 N=1,768、小学校調査 N=753 / 複数回答(5つまで)】



## (2) 四日市市における子育ての環境や支援への満足度

四日市市における子育ての環境や支援への満足度は、『就学前』『小学校』とも、満足と不満の中間の「3」を選んだ方が最も多くなっています。

満足度の低い「1」や「2」を選んだ方を合わせると、『就学前』で約40%、『小学校』で約45%に上り、満足度の高い「5」や「4」を選んだ方を大きく上回っています。

【就学前調査 N=1,882、小学校調査 N=780】

